

初期臨床研修 GUIDEBOOK



社会福祉法人^{恩賜財団} 済生会山形済生病院



理 念

—— VALUE —— 「仁」・・・愛と思いやりの医療を提供します

—— MISSION —— 安全で質の高い医療・誠実で信頼される医療
連携に基づくチーム医療・地域包括ケアシステムの構築

—— VISION —— 急性期から在宅まで地域で安心して暮らせる医療に貢献します
患者さんより信頼の得られる病院を目指します



社会福祉法人 恩賜財団 済生会山形済生病院

初期臨床研修医を目指す皆さんへ



済生会山形済生病院 副院長
臨床研修プログラム責任者
福島 重宣

昨今の医療は超高齢化、少子化、認知症対策と、急性期のみの研修では不十分になっています。当院の特徴は急性期医療を中心に地域包括ケア病棟、回復期病棟を運営し、今後の医療の変化に対応しております。

急性期では日本屈指の手術件数を持つ整形外科・Varix治療の血管外科、また、東北屈指のお産件数の産婦人科が活躍しております。さらに100人近くのスタッフを抱えるリハビリテーション部を持ち、内科・整形外科・脳神経外科ばかりでなく産婦人科、NICUと多岐にわたる活動を行っております。

2006年より、研修医の公募を始め、基幹型・協力型を含めると、87名もの研修医がたくましく成長する姿を見てきております。病院の規模としては大きくありませんが、家庭的な雰囲気の中で多くのことを学ばれています。全国組織の済生会病院のスケールメリットを生かし、小樽・水戸・宇都宮済生病院での地域医療研修も行っており、一つの病院の考え方にかたまらず多くのことが吸収できます。中規模病院のメリットを生かし指導医とのマンツーマン指導体制のなか、充実した研修生活と成果が得られると確信しております。

山形県唯一の公的医療機関として、済生会設立の本旨である無料定額診療などの福祉医療をはじめ、村山2次医療圏の中核的病院として高度・急性期医療を中心に地域医療を担う他、バングラディッシュの病院への医療支援を通じて国際協力にも力を注いでいます。予防医学では人間ドック、脳ドックはもとより、生活習慣病患者が利用する健康増進センターを付設、PET/CT センターを開設し、がんの早期発見に大いに寄与するPET/CT装置を2台保有しております。検診だけでなく、病診・病院連携にも大きな貢献を果たしており、県民医療のレベルアップに繋がっています。



病院概要

所在地	山形県山形市沖町79番1
病院長	石井 政次
病床数	459床
医師数	66名
診療科目	整形外科、内科（循環器・呼吸器・消化器・神経・糖尿病/内分泌・腎臓/透析）、産婦人科、外科・乳腺外科、小児科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、皮膚科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、リウマチ、リハビリテーション
救急医療	救急告示病院(第2次救急)
災害医療	災害拠点病院指定
教育指定	済生会東北・北海道ブロック災害基幹病院 臨床研修指定病院(基幹型) 臨床研修指定病院(協力型) 臨床修練指定病院(外国人医師)
関連施設	済生会山形訪問看護ステーション 介護老人保健施設フローラさいせい 特別養護老人ホーム 愛日荘 特別養護老人ホーム やまのべ荘 特別養護老人ホーム ながまち荘 特別養護老人ホーム 山静寿 養護(盲)老人ホーム 山静寿 はやぶさ保育園
その他	病院機能評価認定 3rdG:ver2.0 労働者健康保持増進サービス機関 人間ドック健診施設認定(日本人間ドック学会) 卒後臨床研修評価認定 (NPO法人卒後臨床研修評価機構)(令和5年現在)



公益財団法人日本医療
機能評価機構認定病院
認定第 GB127-4 号



Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

施設認定

- ◆ 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ◆ 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ◆ 日本高血圧学会認定施設
- ◆ 日本心臓血管インターベンション治療学会の定める Rotablator 施設
- ◆ 日本超音波医学会認定超音波専門医制度 超音波専門医研修施設
- ◆ 日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
- ◆ 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ◆ 日本消化器内視鏡学会指導施設
- ◆ 日本肝臓学会肝臓専門医制度特別連携施設
- ◆ 日本神経学会専門医制度准教育施設
- ◆ 日本糖尿病学会認定教育施設
- ◆ 日本腎臓学会研修施設
- ◆ 日本透析医学会認定教育関連施設
- ◆ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ◆ 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ◆ 日本乳癌学会認定医専門医制度認定施設
- ◆ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ◆ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ◆ 日本胃癌学会認定施設
- ◆ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ◆ 日本手外科学会認定手外科専門医制度認定研修施設
- ◆ 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
- ◆ 日本リウマチ学会教育施設
- ◆ 日本リハビリテーション医学会研修施設
- ◆ 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ◆ 日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
- ◆ 日本脳ドック学会認定脳ドック施設
- ◆ 一次脳卒中センター (PSC)
- ◆ 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ◆ 日本周産期・新生児医学会専門医制度(周産期新生児専門医)暫定研修施設
- ◆ 日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ◆ 日本周産期・新生児医学会専門医制度(周産期母体・胎児専門医)暫定研修施設
- ◆ NIPT (出生前検査)に関する連携施設
- ◆ 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ◆ 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- ◆ 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- ◆ 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ◆ ステントグラフト実施施設 (腹部大動脈瘤)
- ◆ 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 (放射線診断・IVR部門・核医学部門)
- ◆ 日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- ◆ 外国医師臨床修練指定病院
- ◆ 日本高気圧環境・潜水医学会認定病院
- ◆ 日本人間ドック健診施設
- ◆ 日本人間ドック健診専門医研修施設

済生会とは...

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44年に設立しました。

100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の3つの目標を掲げ日本最大の社会福祉法人として全職員約59,000人が、40都道府県で医療・保健・社会福祉活動を展開しています。

- ◆ 生活困窮者を **済** (すく) う
- ◆ 医療で地域の **生** (いのち) を守る
- ◆ 医療と福祉、**会** を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、古い、障害、境遇.....悩むすべてのいのちの虹になりたい。
済生会がそう願って、いのちに寄り添い続けます。

済生会創立の理念を礎に、 すべての人に等しく保健・医療福祉を提供。

社会福祉

◆生活困窮者支援事業（なでしこプラン）
無料定額診療事業による対象者のみならず、刑余者、障がい者、高齢者等の社会的弱者の方に対し、保健・医療・福祉以外にも、就労、住まい、教育等を支援しています。

◆無料定額診療事業
県内唯一の社会福祉法人病院として、社会福祉法に基づき、経済的な理由で適切な医療が受けられない方に、無料または低額で医療を提供しています。

◆地域における公的な取組
地域サロンにおける活動場所の提供や運営支援、地域が抱える課題解決の調整を通じ、地域包括ケアシステムの深化・地域共生社会の実現に貢献しています。

国際貢献

バングラディッシュの首都ダッカには「山形ダッカ友好病院」があり、当院はその後援事務局として活動しています。現在は、現地訪問による支援やバングラディッシュの方に当院に来てもらい医療技術の提供や育成支援などを行っています。



予防医療

◆検診センター
人間ドック、脳ドックなど、受信者ニーズに合わせた検査項目の取り揃え、受信者の生活習慣病の予防と病気の早期発見、また、保健指導も組み込み、健康に対する意識付けと健康増進に努めています。

◆健康増進センターめぐみ
メディカルチェックなどの結果に基づいて、医師による運動処方のもと、健康運動指導士による個別運動プログラムの提供、運動療法の実践を行う施設です。

災害支援

村山地域圏内の地域災害医療センター、災害拠点病院として指定を受けており、地震・津波・台風・噴火等の災害発生時には災害医療を行う医療機関を支援する病院となります。また、DMAT(災害派遣医療チーム)も設置されており、東日本大震災や北海道胆振東部地震の際は現地で医療活動を行いました。



東日本大震災では、当院が済生会の現地連絡事務所となり救援活動を行いました。

保健・医療・福祉の連携

山形県済生会では山形済生病院を中心に、訪問看護ステーション、認可保育所、特別養護老人ホーム、養護（盲）老人ホーム、介護老人保健施設を設置運営しています。施設間では相互連携を図り、各地で地域の患者さんや利用者の方々にきめ細やかな総合的なサービスを提供するべく、日夜努力しています。2018年1月にオープンした山形済生病院南館は、山形県済生会地域ネットワークの象徴的な建物となっております。



診療DATA(令和5年度実績)

1日平均入院患者数 335.2人

1日平均救急車
受入患者数 10人

1日平均外来患者数 737.1人

年間手術件数 3706件

- 研修応募手続き・選考方法 -

- ◆ 募集人数 1学年5名
- ◆ 応募資格 医師国家試験合格者および医師国家試験受験予定者
- ◆ 選考方法 書類審査・小論文・面接（小論文のテーマは事前にお知らせします）
- ◆ 試験日 病院ホームページをご確認ください。
- ◆ 応募締切 試験日の1週間前まで
(定員に達するまで随時募集。担当者へご連絡ください)

【申込方法】

- ◆ 提出書類 履歴書・健康診断書・成績証明書・卒業見込証明書
(履歴書・健康診断書はホームページよりダウンロードできます。<http://www.ameria.org/>)
- ◆ 書類送付・問合せ先 〒990-8545 山形県山形市沖町79-1
済生会山形済生病院 人事課(小澤)
TEL：023-682-1111(代) E-mail：rin-ken@ameria.org

- 研修医処遇 -

- ◆ 身分：正職員
- ◆ 給与：1年次 月額約450,000円 賞与(6月) 200,000円 (12月) 400,000円
◆ 年収見込600万円程度
2年次 月額約520,000円 賞与(6月) 200,000円 (12月) 400,000円
◆ 年収見込690万円程度
- ◆ 勤務時間：平日8：45～17：00
- ◆ 休日：土日祝日、年末年始(12/29～1/3)、創立記念日(10/15)
- ◆ 有給休暇：1年目10日・2年目11日、リフレッシュ休暇3日、その他傷病休暇および特別休暇
- ◆ 時間外手当：有
- ◆ 当直：週1回程度
- ◆ 宿舍：ドミトリー済生(病院敷地内)、月30,000円(下水道料込)、駐車場完備
- ◆ その他：健康保険、雇用保険、厚生年金保険、労災保険、医師賠償保険、健康診断(年2回)、学会参加(助成有)

- 病院見学のご案内 -

見 学 内 容

- ◆ 研修プログラム概要説明
- ◆ 希望診療科見学(事前に見学希望科をお知らせください)
- ◆ 研修医との昼食会(昼食は当院で用意します)
- ◆ 指導医・研修医との懇親会

※遠方よりお越しの方、宿泊が必要な方はご相談ください。

見学申込み先：人事課 TEL：023-682-1111(代) E-mail：[rin-ken@ameria.org](mailto:rln-ken@ameria.org)
※ホームページの「初期研修」→「医学生病院見学」からもお申込みいただけます。

研修プログラムの基本理念・方針

当院の理念、基本方針の下、医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず医学・医療の社会的ニーズと医療チームの一員であることを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を習得すると同時に、医療安全への配慮を身につけることを目的とし、2年間の研修は、必修分野は内科・外科・小児科・産婦人科・精神科及び地域医療とし、研修期間は、内科24週以上、救急部門12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療は4週以上で救急部門は1年次、地域医療は2年次に研修を行う事とし、一般外来研修は、ブロック研修または並行研修により4週以上の研修を行うプログラムとしました。

そのため各診療科ローテーション中に、

- ①将来の専門性に関わらず、すべての医師に求められる各科の初期診療を行うための臨床的スキルを習得する事。
- ②患者の問題を医学的のみならず、心理的・社会的側面からも捉え、患者・家族と良好な人間関係を確立したうえで、医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うため努力をする態度を身につける。
- ③他の医師および医療メンバーと協調して診療を行う習慣を身につけること。
- ④医療安全への配慮を常に怠らないこと。

を目標とします。

これまでの研修医受入実績

	基幹型	協力型
H 3 1 年度	2	1
R 2 年度	5	1
R 3 年度	1	0
R 4 年度	2	6
R 5 年度	2	2

研修医の主な出身大学

山形大学・獨協医科大学・岩手医科大学・福島県立医科大学・新潟大学・北里大学・東海大学等

研修医勉強会・学会発表

研修医勉強会は、縫合手技トレーニングや腰椎穿刺など研修医の希望に合わせ開催しています。
また、学会発表の機会や論文作成などアカデミックな面での指導も含め充実しており、地方会・研究会から全国学会での発表・参加もありキャリア向上にも繋がります。

- 学会発表 -

- ・第80回日本臨床外科学会
～胆嚢癌との鑑別が困難であった大腸癌胆嚢転移の1例～
- ・第55回日本脳神経外科学会東北支部会
～頭部外傷後の両側後頭蓋窩性硬膜下血腫に片側ドレナージ術が有効であった1例～
- ・第42回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会
～ACL・PCL温存型TKA術後の前方不安定性について～
- ・第65回北日本産婦人科学会
～トラベクテジン血管外漏出による皮膚障害を来した子宮平滑筋肉腫の1例～
- ・日本糖尿病学会第60回東北地方会
～グリメピリドのご内服による重症低血糖の1例～
- ・第42回日本脳卒中学会学術集会
～脳梗塞に起因したParoxysmal Sympathetic HyperactivityにITBが有効であった1例～
- ・第41回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会
～Vリーグバレーボール選手に発症した骨髓炎の1例～
- ・第108回日本呼吸器学会東北地方会
～自然退縮を認めた、多発血管炎性肉芽腫症(GPA)の1例～
- ・第130回山形県産婦人科集談会
～妊娠34週妊娠高血圧腎症重症搬送の1例（研修医の立場から振り返って考えさせられたこと）～
- ・第119回東北整形災害外科学会
～当院のKinematic alignment法によるCR型人工膝関節置換術後短期成績～

基本プログラム

必修分野は内科24週以上、救急部門12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、及び地域医療4週以上で救急は1年次、地域医療は2年次に研修を行います。

1年ごとにプログラムを組み、2年次の選択科では将来の進路に応じた研修プログラムが可能となっています。

全11ある協力病院(施設)から選択し、より専門性の高い研修が行えます。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
1 年 次	選択研修			救急部門			外科	小児科	産婦人科	内科		
2 年 次	内科			地域	精神科	選択研修						

* 1年次の2週間はオリエンテーションにあてる * ローテーションは順不同

* 研修スケジュールは、それぞれの希望を踏まえて決定します。

プログラムの特徴

マンツーマンの指導体制

当院は研修が円滑に行われるよう、1名の研修医に対し1名の指導医が担当するマンツーマン形式をとっています。また、研修医各々に対し主任指導医（メンター）を置き、プログラムの進行状況や研修内容等についてフォローしていきます。

自由度の高い研修プログラム・資格取得支援

プログラム内容は、希望をとり1年ごとに決定していきます。そのため将来の専門性を見据えたスケジュール設定ができます。また、1年次からBLS・ITLS・ACLS・JPTECなどの救急資格を取得でき受講料など資格取得に関わる費用は病院が負担します。

日当直・指導体制

当院は上級医が後輩医を指導する屋根瓦方式を採用しています。研修医1年次を2年次が、さらにそれを専攻医、そして指導医が指導していきます。

日当直は月5回（平日当直4回、休日日直1回）の当直業務を経験し、全診療科にわたり救急患者に関する知識・技術を習得していきます。基本的に1年次は2年次または上級医と共に診療を行い、単独での診療は行いません。研修医専用の当直室があり、当直明けは原則午後休みとなります。

-主な研修医勉強会テーマ-



- ・縫合手技トレーニング
- ・輸液勉強会
- ・CVC穿刺挿入トレーニング
- ・フィジカルアセスメントトレーニング
- ・救急外来における脊椎画像診断のピットホール
- ・痛みに対する最新知見と治療
- ・サイエンス漢方処方について
- ・腹部エコー検査の実際
- ・おさえておきたい包帯・テープ・ギプスの使用法
- ・抗菌薬の使い方
- ・小児科の救急対応について
- ・救急外来における胸・腹部エコー検査、JATECによる診療の流れ
- ・健康診断について
- ・心エコーの実際
- など

研修医からのメッセージ

入職してから早くも1年が経過し、研修医1年目を指導する立場となりました。私もまだまだわからないことばかりですが、優しく頼りになるコメディカルスタッフと指導医に支えられて働いていると実感しているところであります。

当院は全国に70病院ほどある済生会グループに属しています。そのため、研修期間中に県外の済生病院でもたすき掛け病院として研修を行える珍しい病院です。各済生病院ごとに特色が違い、当院にない診療科やドクターヘリ搬送もある3次救急指定病院も多く存在するため、済生会として考えると他に病院に引けを取らない研修カリキュラムになっていると思います。ちなみに今年も小樽済生病院や水戸済生病院等に行く研修医がおり、自分の希望にあった研修を行っています。

少人数制のためフレキシブルな研修を行えることが当院の魅力です。山形県内の病院で最も研修医の自主性が担保されており、当院の研修は自分の頑張りに合わせていくだけでも研鑽できる病院だと思います。1年目の研修医も4人ほど入り、研修医及び学生教育もより活発になりました。1年目研修医も経験を積んで来年は立派な先輩になっていることでしょう(笑)。興味がある方は見学にいらしてください、いつでも歓迎します！そして是非研修は山形済生病院でやりましょう！



東海大学出身
初期研修2年次 新野 純平

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内科			脳神経外科(救急)		産婦人科	小児科	精神科	脳神経外科		内科
2年目	内科		眼科	選択科	地域医療	選択科					眼科	



山形大学出身
初期研修2年次 江畑 亜美

2年目研修医の江畑です。初期研修が始まって1年が過ぎましたが、初めに入職した頃から比べると日々いろいろなことが出来るようになってきているな、と感じます。医療従事者としてまだまだ新米であり、医学への理解は今後多くの学びや自己研鑽が必要となってくると思いますが、自由度が高くあたたかい雰囲気の中で自分のペースで直庭させて頂き、感謝の念に堪えません。

研修医の数がそう多くはなくプログラムで回る診療科は比較的自分の希望する通りになることが多いため、それぞれの興味に従って深く丁寧に教えて頂く事ができます。症例や手技も多く経験出来ます。当院のみでは回る診療科に限りがありますが、1年間のうち3ヶ月ほどは他の関連病院を選択することも可能ですので、将来進む診療科に迷っている方にもおすすめです。きになったら、ぜひ一度当院に見学に来てみてはいかがでしょうか。皆様と一緒に研修出来ることを心待ちにしております。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内科	精神科	内科				産婦人科	小児科	救急科	内科	外科
2年目	救急科	内科	小児科		救急科	内科	地域医療	小児科	選択科			

研修医からのメッセージ



山形大学出身
初期研修1年次 鷹野 公威

研修医1年目の鷹野公威です。

山形済生病院は、研修医として最初に歩む臨床研修の場として、充実した環境です。まだまだ未熟な私にとって、先輩医師や指導医の先生方が手厚く指導してくださることは大きな支えとなっています。

研修医の人数が少ないですが、個々の研修医に対して細やかな指導をしてくださいます。経験豊富な先生方が、熱心に私たちの成長を見守り、日々の臨床経験を通じて専門知識と技術を身につける手助けをしてくださいます。また、チーム医療の重要性も学びながら、様々な症例に取り組むことで医療現場での実践力を高めています。

ぜひ一度見学に来て山形済生病院の雰囲気の良さを知っていただきたいです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内科		外科	脳神経外科			内科		精神科	小児科	産婦人科
2年目	選択科				救急		地域医療	選択科				



山形済生病院で研修しています、1年目の伊藤大貴です。今は入職してからひと月が経とうとしているところです。毎日が新しい学びの連続で楽しく勉強させてもらっています。まだ入ったばかりですが、山形済生病院のいいところを沢山見つけることができました。

まず、1つ目に上級医や同僚、周りのスタッフの方々の人柄の良さです。山形済生病院に1度見学に来て頂ければわかると思いますが、みなとても朗らかで優しく人当たりの良い方々ばかりです。院内ですれちがうと挨拶を返してくださる方がほとんどです。何もできない僕たちを温かい目で見守って支えてくださいます。ぜひ1度見学に来て頂きたいです。

2つ目に5人というちょうどいい同期の数と教育しようとしてくれる先生方の熱意です。やる気を見せれば可能な限りどんなことでもやらせてもらえますし、分からない事はいつでも先輩や上級医に相談できます。これは、教育する人とされる人のバランスがよくとれているというだと思います。毎日少しずつやれることをと知識を増やし成長する事のできる環境がこの病院に備わっていると思います。皆さんと一緒に患者さんのために働けることを楽しみにしています。



山形大学出身
初期研修1年次 伊藤 大貴

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内科	脳外科		内科	外科		精神科	小児科	産婦人科	内科	
2年目	選択科				救急		地域医療	選択科				

研修医からのメッセージ



山形大学出身
初期研修1年次 福田 敬

山形済生病院で研修をさせていただいている、研修医一年目の福田敬です。私自身が研修を始めてからまだ一月と経っていないくらいなので沢山の事をより詳しく丁寧に紹介する、ということは出来ませんが、これまでのことからお話出来る部分について少し書きたいと思います。

まず、この病院は同期スタッフ全体の合同研修期間が一週程あり、そこで病院でこれから一緒に働く幅広い職種の人たち、例えば看護師さんや薬剤師さん、技師さん等と広く交流出来ますし、他病院の友人に聞いても、オリエンテーション期間が長い病院は他にあって、多職種とのオリエンテーションに時間を割いて行っている病院は少ないのでは、と感じました。

次に、先生やスタッフの方々の多くが明るくて優しい点もお勧めできると思います。分からないことは指導医の先生であってもなくても教えてもらえますし、病棟で分からないことがあって病棟のスタッフに聞いても丁寧に説明してもらえます。医局では秘書さんや研修医2年目の先輩の先生方のみならず、この病院で研修を終えた先生もいらっしゃるため、手厚くサポートしていただけます。

そして、研修医が多すぎず少なすぎない、というのもいいところだと思います。色々なことをやらせてもらえる、特に自分の興味のある科に対して融通を利かせてもらえますし、研修医同士でお互いにやりくりする上でも手間も多くないので、とても助かります。特に自分は人の名前と顔を覚えるのが得意ではないので、そういったところでも、すごく有難く感じています。

最後になりますが、ぜひ一度見学に来てみて下さい。雰囲気の良いなどが分かると思います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	脳神経外科	小児科	産婦人科	整形外科	内科		外科	精神科	外科	内科	
2年目	選択科				救急		地域医療	選択科				



皆さん、こんにちは！初期研修医1年目の木村大志です。山形大学医学部を卒業し、2024年4月から山形済生病院で勤務しております。私が済生病院を初期研修病院として選んだ理由は2つあります。

1つは、大学病院のように他の関連病院で研修ができるからです。済生病院では合計3ヶ月間、協力基幹病院で研修を行うことができます。二次救急病院では緊急度の高い疾患の経験を得ることが難しい場合がありますが、当院では三次救急病院の水戸済生会病院や山形大学病院での研修を行うことができます。

2つめの理由は、研修医の人数が少人数だからです。研修医の人数が多すぎると症例の取り合いが起きてしまう場合があります。当院の募集人数は5人であるため、症例の取り合いが起り難く、初期研修で経験すべき症例を十分経験することができます。また、研修医の勉強の進捗や学習意欲によっては、早い時期で様々な手技を学ぶこともでき、自分のペースに合わせて研修することが可能です。

以上の理由から私は山形済生病院で研修することに決めました。志望科が決まっている方も、決まっていない方も一度山形済生病院を見学することをお勧めいたします。



山形大学出身
初期研修1年次 木村 大志

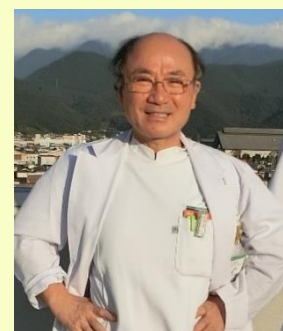
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	外科		内科	心臓血管外科	精神科	内科		婦人科	小児科	泌尿器科	内科
2年目	選択科				救急		地域医療	選択科				



外科・乳腺外科
診療副部長 藤本 博人

山形済生病院は459床で、地域に密着した中核病院です。様々な疾患を取り扱っており、一般的な医療はほとんど経験することが出来ます。また、スタッフ、医師、研修医同士の雰囲気も良く、のびのびとした環境で研修することが出来ます。外科・乳腺外科で取り扱う疾患は、消化器外科領域（食道から直腸、肛門までの消化管と肝胆膵疾患）および、一般外科領域（乳腺、甲状腺、鼠径ヘルニアなど）の疾患です。施設としても、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医専門医制度認定施設として認定されており、様々な外科の専門医をとることも可能です。また、腹腔鏡手術にも力を入れており、内視鏡外科認定医2名体制で手術を行っています。手術件数としてはハイボリュームセンター程ではありませんが、基本的に研修医一人体制で研修することができ、一人当たりの経験数は決して劣るものではありません。一緒に頑張ってくれる若者は大歓迎です。ぜひ、当院での研修を検討してください。

当院産婦人科の特徴は、NICU(新生児特定集中治療室)と連携しての周産期センターの運営です。妊娠分娩にとって最も肝心なことは、母体と胎児の生命の安全です。このため、当院では産婦人科医師はもちろん新生児科医師も常時当直し、24時間体制で分娩を監視し、母体と新生児にとって最も安全で安心な病院を目指しています。また緊急事態を想定したシミュレーションを実地し、スタッフの教育と訓練を行なっております。分娩数は過去十数年常に県内一位であり、多くの分娩を扱っています。ハイリスク妊婦などの母体搬送依頼は原則として断ることはなく、県内全域から受け入れています。このようなことから、当院は日本周産期新生児医学会の基幹施設、地域周産期母子医療センターに指定されています。多くの母体搬送症例がありますので、緊急母体搬送症例がどのように診察、診断され、また場合により緊急手術となり、続いて新生児がNICUでどのように加療されるのか、という一連の救急処置の流れを勉強していただきたいと考えております。また当院は、扱う分娩が多いので、その日の条件にもよりますが、経膈分娩（自然分娩、吸引分娩）、帝王切開分娩に参加する機会も多いものと考えています。さらに、婦人科の手術数も多いため、婦人科疾患の手術参加も多数できるものと考えています。



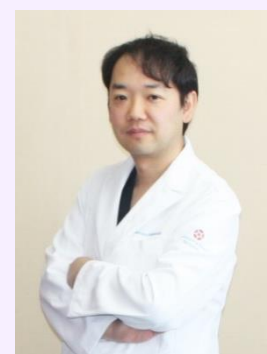
診療顧問
産婦人科 阪西通夫



糖尿病内科 杉山琢真
(H28年獨協医科大学卒業)

山形済生病院で初期研修を修了した杉山琢真と申します。より大規模な病院で内科の後期研修中の今、済生病院での初期研修という選択が正しかったと実感できる充実した日々を送っています。済生病院は研修医1人当たりの症例数が確保されている上、ベテランで人望の厚い先生方に師事することができます。初期研修は何事も貴重な学びの機会と捉えて、専攻科の勉強と同等に他科の勉強も重視しなければなりません。初期研修中に外科系の症例も豊富に経験できたことが、診療の大きな糧になっています。救急外来においてはcommon diseaseを中心に多くの症例を経験し、研修医自ら診察・検査・治療を行いながら、その場で指導医のフィードバックを受けられる点が特徴です。済生病院は各部門の繋がりが強く、良好なチームワークの中で研修医をサポートしてくださる土壤があります。アットホームな病院の雰囲気や環境は一朝一夕に築き上げられるものではなく、山形済生病院の長い歴史の中で先輩方が築いてこられた誇れる伝統です。医師として研鑽を積みながら、人間性を磨くことのできる環境であったことに感謝しています。山形済生病院での研修をお勧めします。

山形済生病院で初期研修を終了した濱崎正康と申します。本年4月から、山形済生病院の整形外科後期研修プログラムに参加させていただいております。山形済生病院での初期研修の特徴は、一人ひとりに行き届いた研修プログラムだと考えております。初期研修はさまざまな症例に触れ、そのひとつひとつに対して自ら考え、実行し、指導を受けるというサイクルが重要となります。症例に関しては十分に関わる数ができる数が確保されており、そのひとつひとつに対し入院から退院まで対応し、ベテランの先生方からマンツーマン、場合によっては1対多での指導を受ける機会があり、充実した研修生活を送ることができます。また各診療科の連携が容易で、相談がしやすいのも特徴です。救急外来においては、救急で来院した患者に対し、初診から治療し帰宅・紹介まで上級医の指導のもと行い、一般診療の基礎を学ぶことができます。この病院で、指導医の先生方と細かく濃密な研修を送ることができました。後期研修でも初期研修での経験が非常に役立っていると実感しています。ぜひ、山形済生病院での研修を考えてみてください。



整形外科 濱崎正康
(H29年岩手医科大学卒業)



山形大学医学部附属病院
〒990-9585
山形市飯田西2-2-2



水戸済生会総合病院
〒311-4198
茨城県水戸市双葉台3-3-10



医療法人篠田好生会千歳篠田病院
〒990-0811
山形市長町2-10-56



済生会岩泉病院 <地域医療研修>
〒027-0501
岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字中家19-1



白鷹町立病院 <地域医療研修>
〒992-0831
白鷹町大字荒砥甲501



介護老人保健施設
フローラさいせい(山形済生病院内)



済生会小樽病院 <地域医療研修>
〒047-0008
北海道小樽市築港10-1



特別養護老人ホームながまち荘
〒990-0811
山形市長町751番地



済生会宇都宮病院
〒321-0974
栃木県宇都宮市竹林町911-1



佐藤眼科医院銅町クリニック
〒990-0051
山形市銅町1-6-35

卒後進路

- ・山形大学医学部 第一内科学講座
- ・山形大学医学部 第一外科学講座
- ・山形大学医学部 整形外科学講座
- ・山形大学医学部 産婦人科学講座
- ・山形大学医学部 脳神経外科学講座
- ・山形大学医学部 麻酔科学講座
- ・山形大学医学部 眼科学講座
- ・山形大学医学部 放射線医学講座
- ・山形大学医学部 精神医学講座
- ・山形大学医学部 皮膚科学講座
- ・済生会山形済生病院 内科
- ・済生会山形済生病院 糖尿病内科
- ・済生会山形済生病院 整形外科専門研修プログラム
- ・山形県立中央病院 内科専門研修プログラム
- ・札幌医科大学医学部 麻酔科学講座
- ・釧路市立釧路総合病院 外科
- ・東北大学病院 糖尿病内科
- ・東北大学病院 精神科
- ・福島県立医科大学医学部 器官制御外科学講座
- ・群馬大学医学部 消化器内科
- ・慶應義塾大学医学部 整形外科
- ・東京医科歯科大学 糖尿・内分泌科
- ・新葛飾病院
- ・岡山大学医学部 整形外科

①

整形外科の手術件数、産婦人科のお産件数 県内トップクラス

整形外科・産婦人科は村山地区で入院患者数トップを占めています。
人工関節の手術が非常に多く、人工股関節・人工膝関節ともに年間400件
以上行われています。これは県内随一であるのみならず全国でも上位10施
設に入る実績であり、関節外科医の修練の場にもなっています。また、
NICUと連携した周産期センターがあり、ハイリスク妊婦などの母体搬送
依頼は断ることなく、県内全域から受け入れ、年間700件近くの分娩を
扱っています。



②

急性期から回復期まで一貫して取り組む チーム医療

急性期病院でありながら回復期リハビリ病棟・地域包括病棟を
有する全国的にも稀有な病院として、多職種での連携を図りな
がら、患者さんごとにチームアプローチでの医療を提供してい
ます。また、平成30年度からは介護老人保健施設も併設されて
おり地域医療との結びつきも深く学ぶ事が可能です。



③

県内最大規模の 総合リハビリテーション施設

県内最大規模のリハビリテーション施設を有し、脳卒中・
整形外科疾患など高い専門性を持つスタッフが質の高いリ
ハビリを提供しています。また医師と共同で全国的な臨床
研究や学会発表などにも積極的に取り組んでいます。



④

指導医とのマンツーマン指導体制

当院は研修医が少人数のため、一人ひとり手厚く指導し、
手技も多く経験できます。また、指導医の診察法や外来テ
クニックなど細かいところまで指導していただきます。

⑤

全国組織の済生会

済生会は、日本最大の社会福祉法人として40都
道府県で医療・保健・福祉活動をしています。
地域医療研修では、小樽や岩泉、救急医療では
水戸や宇都宮など希望の診療科に合わせ研修す
ることもできます。



整形外科

県内で最も多い15名の整形外科医が在籍。
令和5年度の1日平均外来患者数は205人。
年間手術件数は約2,000件近く行っています。

◆各専門領域の手術や患者の特徴

・股関節外科、膝関節外科

伝統的に人工関節の手術が非常に多く、人工股関節・人工膝関節ともに年間400件以上行われています。これは県内随一であるのみならず全国でも上位10施設に入る実績であり、関節外科医の修練の場にもなっています。

・脊椎外科

内視鏡手術を得意としており、1名の脊椎内視鏡下手術技術認定医が従来よりも小さい皮膚切開で脊椎手術を行っております。

・骨軟部腫瘍外科

平成30年より専門診療を開始しました。一般の医師では判断の難しい皮下、筋肉、骨内の腫瘍に対し術前の画像検査、試験的組織採取検査、手術、病理診断まで一貫して行っています。

・手外科

手外科専門医が在籍し、手外科研修の基幹施設となっております。手や肘のけが、変形、痛みやしびれを伴う疾患を幅広く扱っており、他施設で判断や治療が困難な患者さんを多く引き受けています。

外科・乳腺外科

外科・乳腺外科で取り扱う疾患は、消化器外科領域（食道から直腸、肛門までの消化管と肝胆膵疾患）および一般外科領域（乳腺、甲状腺、鼠経ヘルニアなど）の疾患です。腹腔鏡手術が昨今広まっておりますが、学会から技術認定のお墨付きをいただいているのは山形県内で6人のみですが、その内2人が当院に勤務しています。

臨床研修医の指導に関しては、スタッフ全員が臨床研修指導医の資格を有しており、できる限り手術に参加し外科基本手技が習得出来るよう指導に当たっています。

脳神経外科

山形大学医学部脳神経外科と連携し、脳血管障害、頭部外傷、機能的脳神経外科、脳腫瘍などの一般的な脳神経外科の急性期治療を中心としながら、急性期から回復期・維持期へのリハビリテーションを含めた総合治療を行っています。

CT・MRI・脳血管撮影・脳血流検査とともに迅速に行える環境を整えており、脳卒中治療専門医が診察・治療を行っています。tPAおよび超急性期の血行再建を積極的に行える体制をとっており、外科治療では神経機能モニタリング、神経内視鏡、術中血管撮影などを駆使した、安全・確実な治療を目指しています。

産婦人科

当院の産婦人科の特徴は、NICUと連携しての周産期センターの運営です。

産婦人科医氏はもちろん新生児医師も常時当直し、24時間体制で分娩を監視し、母体と新生児にとって最も安全で安心な病院を目指しています。分娩件数は年間700件近くの分娩を扱っており、ハイリスク妊婦などの母体搬送依頼は原則として断ることなく県内全域から受け入れています。このようなことから当院は日本周産期新生児医学会の基幹施設に指定されています。

産科疾患、婦人科疾患の手術件数は合わせて年間420件で、当院の特徴として、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術が多くあることです。YAGレーザーとCO2レーザー装置も配備し、様々な手術に活用しています。

内科

・消化器内科

急性・慢性期の消化器疾患、肝疾患、胆・膵疾患を中心に消化器患者全般の診療にあたっています。特に中規模急性期有床病院として機動力のある迅速な診療をひとつを特色とし、同時にPET/CT、超音波内視鏡、拡大内視鏡、特殊光内視鏡、カプセル型小腸内視鏡など最新の医療機器を積極的に活用し判断の正確性を期しております。

・循環器内科

急性期から維持期の心臓リハビリテーションまでこなし、検査は運動負荷心電図・トレッドミル負荷心電図・Holter心電図・心臓超音波検査・頸動脈エコー・下肢動脈エコー・心臓核医学検査・心臓カテーテル検査で、主な実績は、経皮的冠動脈形成術・経皮的冠動脈ステント留置術・人工心臓ペースメーカー植込術など行っています。

・腎臓内科

検診で尿異常を指摘されて見つかるような腎炎、尿蛋白が多量に出て浮腫むネフローゼ症候群、腎臓の働きが弱くなる腎不全など腎疾患全般について診療を行っています。また長く続く熱や、関節や筋肉の痛みがでることの多い膠原病についても担当しています。

・神経内科

脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気を内科的に治療しており、病気進行のため通院が困難になったときの在宅介護への橋渡しもしています。平成30年度の神経疾患の診断名は20名以上に及び、パーキンソン病関連疾患、脳梗塞、筋委縮性側索硬化症が多く、多発性硬化症、重症筋無力症など極めて多彩でした。非神経疾患では尿路感染と肺炎が多く、山形大学からの受け入れも行いました。

充実した 福利厚生

■ 改装された医局・研修医室の確保

平成30年に医局の全面改装を行いました。プライベート空間を重視し、席はすべて半個室になっています。医局はワンフロアのため、風通しが良く指導医に相談しやすい環境が整っています。また、研修医専用の空間も確保されているため、研修医同士の情報交換や休憩がとれるよう配慮されています。



■ 出産育児のサポート

当院は子育て応援企業として、県内病院で唯一の優秀(ダイヤモンド)企業として認定されており、育児支援も充実しています。これまでも妊娠・出産を経て研修を修了された研修医や現在も育児家事に奮闘しながら活躍されている女性医師もいます。又、職員全体で職場復帰支援、復帰過程の女性医師に対して育児支援などのサポートを行っています。病院敷地内には、保育所や病児保育もあり、安心して研修に専念できる環境が整っています。



山形いきいき子育て応援企業
「優秀(ダイヤモンド)企業」認定



院内保育所

出産・育児のための休暇休業

男性

- ・ 出産休暇(3日)
- ・ 育児休業(1歳の誕生日前日まで)

女性

- ・ 妊娠時間短縮勤務(始業就業それぞれ30分)
- ・ 産前休暇8週間取得可能
- ・ 育児休業(1歳の誕生日前日まで)
- ・ 育児時短勤務(3歳の誕生日前日まで)

■ 暮らしのサポート・互助会制度の充実

病院敷地内に宿舎を完備。低額の自己負担が魅力で、多くの先輩職員が利用しています。また、山形県済生会には、相互扶助を基本理念とし、医療費・慶弔費等において追加給付を行う制度があります。給付の内容としては、医療費給付や慶弔祝金等給付(結婚・出産・永年勤続・香典・傷病見舞金等)があり、職員だけではなく、配偶者や扶養家族にも適用されます。

職員宿舎 ドミトリー済生

- ・ 1DK フローリング、バルコニー付き
- ・ 月額 30,000円
- ※駐車場1台、上下水道代を含む
- ・ 独身者に限る。山形市内在住者も利用可



医療費給付

外来診療(本人)
保健診療負担が2,500円を超えた額

入院診療(本人)
保健診療負担10,000円を超えた額

分娩(当院での分娩のみ)
出産一時金を控除した額

■ ほかにも嬉しい制度がいっぱい

学会・出張旅費助成あり

医師賠償責任保険加入(病院負担)

財形貯蓄制度・生命保険団体加入

職員の健康管理

- ・ 各種がん検診
- ・ 各種予防接種
- ・ PET/CT検査
(職員や配偶者は半額で利用可)
- ・ 職員対象の「健康運動教室」

会員制ホテル 東京ビュックの利用

東京出張やプライベートでの旅行など
家族での利用も可能

- ・ 東京都中央区勝どき
都営地下鉄大江戸線「勝どき駅」
より徒歩1分
- ・ 格安な利用料金



オフィシャルスポンサー

モンテディオ山形(サッカー)
パスラボ山形ワイヴァンズ
(バスケットボール)

☆スポンサー特典としてホーム
ゲーム招待券をプレゼント!



イベント・クラブ活動

院内には10のクラブ活動やたくさんのイベントがあり、職種を超えた交流が盛んに行われています。
レジナビや済生会学会、年末に開催される大感謝祭など研修医の活躍する場がたくさんあります。



周辺環境

山形済生病院は、山形県の東南部にある山形市にあります。
治安が良く自然にも恵まれているため、暮らしやすい快適な環境が確保されています。
病院周辺の商業施設には、イオンやヨークベニマルのほか小型商店が点在しているため、生活必需品の買い物で困ることはありません。
近くには馬見ヶ崎川が流れており、春には川沿いに約200本の桜が咲き揃い、秋には山形で有名な日本一の芋煮会も開催されます。



交通情報

山形 6分 羽前千歳 1時間10分 仙台

最寄駅の羽前千歳から奥羽本線で山形駅まで6分、仙台駅まで1時間10分。その他、路線バスや病院のシャトルバスもあります。



交通機関のご案内

- 🚗 お車で JR山形駅より15分
国道13号線大野目交差点より5分
- 🚶 列車で JR羽前千歳駅下車 徒歩10分
- 🚌 バスで シャトルバスをご利用ください。
路線バスの場合
「山交ビル・山形駅前～天童温泉・楯岡北町行き」
「千歳」バス停下車 徒歩10分



山形済生病院
キャラクター なでりん

〒990-8545 山形県山形市沖町79番1

TEL 023-682-1111 FAX 023-682-0122

URL <http://www.ameria.org/>



<https://www.facebook.com/yamagata.saisai/>



memo